

現地シミュレーション

日本で行われている透析技術は、世界の基準とは異なり、日本独自で発展を遂げた医療技術である。その為、海外にこの技術を広めていくためには、日本で使用されている透析機器が海外でも使用可能かを確認する必要がある。また、医療の質は、医療機器だけではなく、医療者の技術や環境に依存するものである為、日本型透析医療パッケージとして、対象国での導入試験を行う必要があると考えた。

そこで本事業では、ターゲット病院である**バムルンラード国際病院**の透析センター内において、バンコク市内の透析医療機関関係者を招き、日本型透析医療の説明会やCDDSの運用シミュレーションを行うことによって、日本型透析医療に対して関心を持ってもらうことを目的とした。また、アンケートを実施し、日本型透析医療パッケージ導入の可能性について調査を行った。